

九州兼喜

2023.9

No. 148

令和5年度

「全国労働衛生週間」 にあたって

清水建設株式会社 九州支店
安全環境部 部長

田中 秀樹

全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する国民の意識を高めるとともに職場での自主的な活動を促しており、労働者の健康を確保することを目的に昭和25年から毎年実施され、今年で74回目になります。

今年も、10月1日から10月7日までを本週間、9月1日から30日までを準備月間として、『目指そうよ二刀流 ことごとからだの健康職場』のスローガンのもとに実施されます。

労働者の健康をめぐる状況についてですが、高齢化の進行により一般健康診断の有所見率が上昇を続けているほか、何らかの疾病を抱えながら働いている労働者が増加するとともに、中高齢者の転倒等が起因する労働災害が多く発生しています。

高年齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや労働災害の予防的観点から、健康づくりや職場環境の整備を推進していくことが求められています。このため、高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）を元に、日常管理項目として引続き、作業所内での段差や階段等を解消する取り組みを推進していきます。また、「高年齢作業員体力測定マニュアル」を発行し、労働者の気付きを促すための体力チェック及び維持・向上を目的として、いつまでも元気に働くために、活用していただきたいと思います。

さらに、職業がんの労災補償の新規支給決定者は、石綿による中皮腫・肺がんを中心に年間1,000人を超えています。石綿含有建材が使用されている建築物の解体工事が2030年頃をピークとして増加が見込まれる中、解体・改修前に義務づけられている石綿の有無に関する事前調査や石綿の発散防止措置が適切に行われていない事例が全国的に散見され、当社でも不具合事例が発生しています。こうしたことを踏まえ、石綿則の改正が段階的に行われ一定の建築物や工作物などの解体・改修工事については、有資格者による事前調査や、石綿事前調査結果報告システムを用いた報告の義務化など、石綿によるばく露防止対策の強化を進めており、当社でも調査者の資格の取得に力を入れ目標を達成しています。今一度、

改正された石綿則を見直し、遅滞のない申請、適正な処置、保護具等の着用による健康管理の徹底をお願いします。

九州支店では6月30日に一酸化炭素中毒により、5人の被災者が発生する災害が発生しています。閉鎖された作業空間にエンジン式の発電機を2台使用し、換気設備が整わない空間で7人の作業員が作業しうち5人が一酸化炭素中毒の症状を訴え、病院へ運ばれたものです。幸い、使用していた時間が短く大事には至らなかったのですが、もしかしたら全員死亡してもおかしくない災害でした。主たる原因は音出しの工程が逼迫し、人を増やすために不足する電気容量を補うためエンジン式発電機を使用したものです。閉鎖された空間でエンジン式発電機を使用してはならないという基本を誰も指摘せず使ってしまったことです。閉鎖された空間でエンジンを使うということの危険性を、使用する人も管理する人も理解せずに使用してしまう現状に危機感を覚えます。皆さんはプロとして使用する機械、資材がどういった特性を持ち、どんな危険が潜んでいるかを当然理解し、それにあった使用方法、取り扱いを行っているものと思います。それが理解し、正しく使用されなければ大勢の方の命をも脅かすと肝に銘じ、日々の作業を行っていただきたいと思います。

熱中症についてですが、今年度は梅雨が7月後半と遅めでしたが、以降、全国的に記録的な暑さとなり、7月7日には他支店で熱中症による死亡災害が発生しています。要因として、雇い入れ時の健康診断や、雇い入れ教育が適切に実施されず、本人の体調の把握や、熱中症に関する教育がなされないまま、酷暑の作業場で作業を行い死に至った可能性も指摘され、事業主の安全衛生教育、健康管理の重要性がクローズアップされた事象です。事業主の方は充分留意ください。

残暑による熱中症のリスクはまだまだ続くと思われます。暑い日が続き疲労が蓄積することで、熱中症になるリスクが、例年以上に高くなっているため、例年以上に発生件数が増加することが予想されます。油断することなく、引きつづき健康管理、教育、設備の充実、巡回による水分摂取や休憩の実施状況の把握、指導を行っていただきますようお願いいたします。

また、十分なコミュニケーションを図り、お互いに積極的な声掛けをすることで、仲間の心や体の健康をチェックして、様々な問題を未然に解決するきっかけにしましょう。

この全国労働衛生週間を契機に、経営トップをはじめ関係者全員が労働者の健康保持・増進の重要性についてさらに認識を深め、心身ともに健康で、誰もが安心して働ける快適な職場づくりを目指し、効果的な労働衛生管理活動を実施して下さい。

※全国労働衛生週間ポスターは8ページにあります。

着任のご挨拶



清水建設(株) 九州支店
副支店長

岩田 正昭

7月1日付で、小川副支店長の後任として、管理担当副支店長を拝命しました岩田です。九州兼喜会の皆様におかれましては、日頃より当社のさまざまな活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

私は、1990年(平成2年)に清水建設に入社しました。本社人事部で2年あまり勤務した後、1992年に土木東京支店長野土木営業所へ転勤となりました。海に囲まれた山口県で生まれ育った私にとって、初となる「海なし県」での勤務でしたが、高崎～長野間で最盛期を迎えていた北陸新幹線の山岳トンネルの現場を拠点に、県内のさまざまな工種の土木工事の現場事務を担当しました。

当時の長野県は、1998年2月の冬季オリンピックを控え各所でインフラ整備が活況を呈し、さながらバブルの様相でした。昨今の働き方からはあまりお勧めできませんが、高速道路、高架橋、ダム、ゴルフ場、スキー場等、広い長野県を車で駆けずり回ったのはよい思い出です。30才になる直前まで5年弱にわたり長野の現場で過ごしましたが、拠点のあった北御牧村(現東御市)のトンネル現場では、協力業者の皆さんと文字通り寝食を共にし、実に多くのことを学ばせていただきました。

その後は、経歴の約7割にあたる20年あまりの期間、本社と支店を行ったり来たりしながら、人事の業務に従事してきました。これまでに経験した部門は、本社、東京・土木東京・北陸の各支店に加え、第一勧業銀行(現みずほ銀行)と関連会社への2度の出向も経験し、直近は、総務部長として

広島支店で2年間、関東支店で4年間勤務しました。

さて、建設業界は、現在2つの大きな課題に直面しています。

1つ目は、何と言っても建設業への適用が目前に迫った「2024年問題」への対応です。我々が将来にわたって持続可能な業界であり続けるためには、長時間労働の是正を始めとする労働環境の改善は避けて通れない課題です。生産性向上そのものが問われる大変難しい課題ですが、九州支店に関わる皆さんがイキイキと働ける職場環境づくりに向けて、その一助となれるよう努力していきたいと思います。

2つ目は、担い手確保の問題です。少子高齢化の進展と労働力人口の減少に伴い、将来の担い手をいかに確保していくかという課題に直面しています。私が長く携わってきた人事の世界には「人材を惹きつける会社は未来を手にする」という格言がありますが、昨近の他産業との人材獲得競争は熾烈を極めています。今後我々が健全な業界として存続していくためには、引き続き、適正工期の確保、現場閉所の推進、労働環境や処遇の改善、女性活躍推進等に取り組み、若者に選んでもらえる魅力的な職場環境を実現していく必要があります。そのために残された時間はあまり多くないのではないかと感じています。

これらはいずれも、兼喜会の皆様の協力が必要であれば達成できない課題です。当社と兼喜会の関係は車の両輪に例えられますが、両者がこれまで以上に知恵を絞りあって、共に取り組んでいくことが必要です。私も、微力ながらこれらの課題の解決に向けて取り組んでまいりたいと思いますので、前任者同様、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、九州の各地区では、諸先輩の時代から築いてきた当社と兼喜会の強いつながりがあると伺っております。そのコミュニケーションのよさと一体感こそ九州の強みであると確信しております。九州兼喜会のますますのご発展と、会員各社様のご隆盛、皆様方のご健勝を心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和5年度

安全衛生推進大会

共
催

- ・清水建設九州支店 建築部・土木部、旧大名小跡地活用事業建設所、福岡大学病院新本館建設所、
メーブルツリー筑紫野LC建設所
- ・株シミズ・ビルライフケア九州支社
- ・清水建設九州支店 取引業者災害防止協議会 福岡支部・土木支部
- ・シミズ・ビルライフケア九州支社 取引業者災害防止協議会

と き	令和5年6月6日(火) 13:30~15:00
ところ	学校法人福岡学園 50周年記念講堂棟
出席者	458名

〈司 会〉

取引業者災害防止協議会 福岡支部 山元 健蔵

1. 開会の辞

清水建設九州支店 取引業者災害防止協議会
土木支部長 西村 誠

2. 挨拶

清水建設(株) 九州支店
執行役員支店長 湯原 克佳
清水建設九州支店 取引業者災害防止協議会
会長 篠森 義晴

3. 来賓祝辞

清水建設(株) 安全環境本部
本部長 塚田 泰三 様

4. 表彰

清水建設(株) 社長表彰
清水建設(株) 支店長表彰
清水建設九州支店 取引業者災害防止協議会
会長表彰



5. 安全基本方針の説明

清水建設(株) 九州支店
安全環境部 部長 田中 秀樹

6. 安全宣言

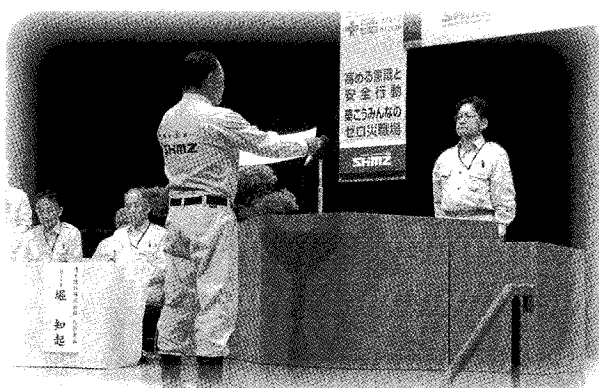
清水建設九州支店 取引業者災害防止協議会
福岡支部長 日高 輝幸

7. シュプレヒコール

清水建設(株) 九州支店 福岡大学病院新本館建設所
副所長 大平 雅晴

8. 閉会の辞

シミズ・ビルライフケア九州支社
取引業者災害防止協議会
会長 山田 宏次郎
以 上



安全スローガン

●厚生労働省統一スローガン

『高まる意識と安全行動』

築こうみんなのゼロ災職場』

●清水建設・清水建設九州支店スローガン(共通)

『危険を予知してダブルの対策』

あわてずあせらず安全作業』

安全宣言

我々取引業者一同は『危険を予知して ダブルの対策 あわてず あせらず安全作業』のスローガンのもと 今一度「安全第一」「整理整頓」を確実に励行・推進し、更なる安全活動に努めます。そして、この安全衛生推進大会を機に九州安全文化の復活へ向け行動災害の撲滅を目指すことをここに宣言します。

令和5年6月6日

清水建設 九州支店 取引業者災害防止協議会
福岡支部長 日高 輝幸

令和5年度 各支部安全大会報告

..... 福岡・土木支部

と き／令和5年6月6日(火)

ところ／学校法人福岡学園 50周年記念講堂棟

出席者／458名

..... 北九州支部

と き／令和5年6月15日(木)

ところ／北九州パークサイドビル 9階 会議室

出席者／57名

..... 佐賀支部

と き／令和5年6月26日(月)

ところ／佐賀市文化会館

出席者／92名

..... 長崎支部

と き／令和5年6月12日(月)

ところ／平安閣サンプリエール

出席者／90名

..... 熊本支部

と き／令和5年6月23日(金)

ところ／メルパルク熊本

出席者／88名

..... 鹿児島支部

と き／令和5年6月20日(火)

ところ／サンロイヤルホテル

出席者／80名

..... 大分支部

と き／令和5年6月13日(火)

ところ／トキハ会館 5階 ローズの間

出席者／58名

..... 宮崎支部

と き／令和5年6月21日(水)

ところ／宮崎八幡宮 社務所2階 大会議室

出席者／72名

..... 沖縄支部

と き／令和5年6月16日(金)

ところ／沖縄県青年会館 2階 大ホール

出席者／102名

清水建設全国連合兼喜会 第64回定時総会 東方大会

日 時	令和5年5月12日(金) 16:00～
場 所	メトロポリタン仙台
出席者	全国各支部300名 九州兼喜会より篠森会長他20名

総 会 次 第

司会 (東北) 稲村 忠夫

1. 2022年度物故会員の報告と黙祷
1. 開会の辞 東北兼喜会副会長 菅野 喜仁
1. 会長挨拶 全国連合兼喜会会長 中橋 博治
1. 議長選出 東北兼喜会会長 岑 直樹
1. 議 案
 - (1) 2022年度事業報告 副会長 石井 映雄
 - (2) 2022年度決算報告 副会長 青木 茂
 - (3) 2022年度会計の認証 会計監事 田畑 博章
 - (4) 2023年度事業計画案 副会長 江崎 竜優
 - (5) 2023年度予算案 副会長 青木 茂
 - (6) 次期総会開催支部の決定 会長 中橋 博治
 - (7) 各支部代表提案
1. 来賓紹介
1. 歓迎の辞

清水建設(株)常務執行役員東北支店長 清水康次郎 様
1. 来賓祝辞

清水建設(株)代表取締役社長 井上 和幸 様
1. 清水建設(株)より助成金の贈呈

清水建設(株)代表取締役社長 井上 和幸 様
1. 大会宣言

東北兼喜会会長 岑 直樹
1. 次期総会開催支部への会旗伝達

全国連合兼喜会会長 中橋 博治
1. 次期総会開催支部長の挨拶

関東兼喜会会長 吉田 知弘
1. 閉会の辞

東北兼喜会副会長 江村 克志
以 上



大会宣言

1920年(大正9年)、清水組(当時)の仙台出張所開設に伴い、地元職方の協力関係が生まれ、職方の間で一心同体となって清水組に貢献しようという機運が高まり、1933年(昭和8年)4月に「仙台兼喜会」が発足しました。

その後、戦争、終戦、さらに占領下の諸規制と、幾多の苦難を乗り越え、1960年(昭和35年)には「清水建設全国連合兼喜会」結成に参画しました。そして、宮城県沖地震(1978年6月)の災害復旧には清水建設と兼喜会が一体となって取り組み、大きな成果をあげ、1986年(昭和61年)に「東北兼喜会」に名称を変更し、東北における全国連合兼喜会定時総会も本年で7度目となりました。

平成に入ってからバブル崩壊後、建設投資の縮小、リーマンショックなど厳しい経済環境が続く中、2011年(平成23年)3月11日に東日本大震災が発生しました。マグニチュード9.0という戦後最大の巨大地震が襲い、太平洋沿岸には大津波が直撃し、沿岸地域はほぼ壊滅し、多数の尊い命が奪われました。

12年以上が経過し復興工事も進みましたが、地域によってはいまだ道なかばです。

近年、東北地方では強い地震が何回か発生しており、全国でも自然災害は頻発化、激甚化し、被害を最小限に食い止めるためにも建設業に従事する人達の技術・技能が欠かせないと共に、今後も大きな役割を果たしていかなければなりません。

私達兼喜会会員は本日の総会を期し、いま一度、原点に立ち返り、より一層の信頼に応えられ得る「自立した兼喜会」を目指すことを、ここに宣言いたします。

令和5年5月12日

清水建設全国連合兼喜会
第64回定時総会(東北大会)

伊予銀行福岡支店 建替えプロジェクト

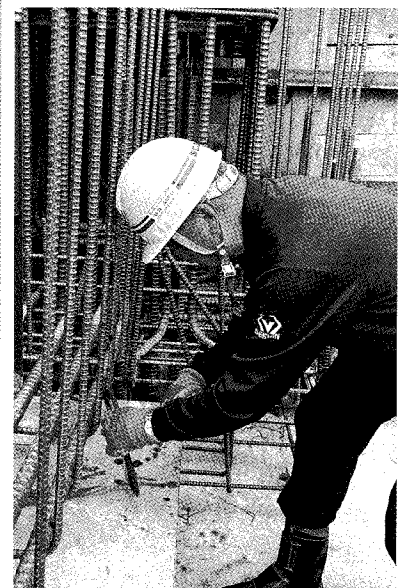
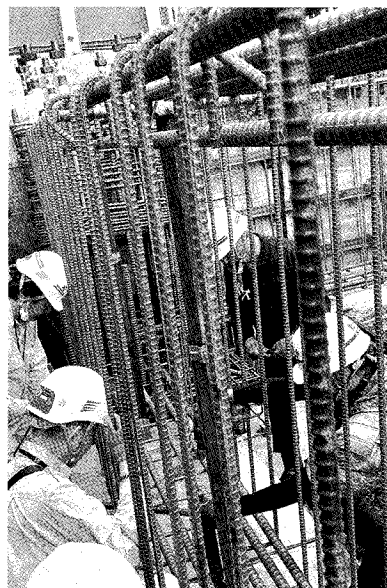
工事主任 田 中 秀 和

昭和46年竣工の弊社施工物件である旧伊予銀行福岡支店において、その鉄筋工事を篠森会長が担当されました。

この度同じ土地・施主・施工者で新伊予銀行福岡支店の新築工事を施工することになり、篠森会長自身非常に思い入れがあるということで、基礎配筋工事を作業していただきました。

当日非常に暑い中、梅山副支店長・吉見建築部長・山下統括工事長も参加して頂き、暑さに負けぬ皆様の熱い想いを現場担当者全員が共有し、士気向上に努めることが出来ました。その想いや意志を受け継ぎ、無事故・無災害で竣工出来る様進めてまいります。

このような会を実施していただきありがとうございます。



兼喜会議事録

○理事会

と き	4月5日(水) 12:00～
ところ	兼喜会事務所
出席者	調達部より 谷口部長 様 篠森会長他8名

【議 題】

1. 第1回全国連合兼喜会支部長会議報告の件
2. 第2回全国連合兼喜会支部長会議の件
3. 全国連合兼喜会定時総会（東北大会）の件
4. 全国連合兼喜会定時総会（九州大会）の件
5. 青年部
6. 伊勢神宮参拝の件
7. その他

○理事会

と き	6月7日(水) 11:30～
ところ	兼喜会事務所
出席者	調達部より 谷口部長 様 篠森会長他9名

【議 題】

1. 第2回全国連合兼喜会支部長会議報告の件
2. 西日本地区交流会の件
3. 西日本地区交流会（九州開催）の件
4. その他

○青年部幹事会

と き	4月27日(木) 12:00～
ところ	兼喜会事務所

と き	5月22日(月) 12:00～
ところ	兼喜会事務所

と き	6月27日(火) 12:00～
ところ	兼喜会事務所

○青年部支部長会議

と き	5月26日(金) 12:00～
ところ	支店5階会議室

○理事会

と き	5月8日(月) 12:00～
ところ	兼喜会事務所
出席者	調達部より 谷口部長 様 篠森会長他9名

【議 題】

1. 全国連合兼喜会定時総会（東北大会）の件
2. 安全衛生推進大会の件
3. 西日本地区交流会の件
4. 青年部
5. その他

○理事会

と き	7月6日(木) 12:00～
ところ	兼喜会事務所
出席者	調達部より 谷口部長 様 篠森会長他8名

【議 題】

1. 令和5年度安全衛生推進大会を終えて
2. 全九州役員会（9月開催）の件
3. 全九州役員会（12月開催）の件
4. 青年部
5. その他

○青年部総会

と き	5月26日(金) 16:30～
ところ	アクア博多 貸会議室





諸 行 事

○成田山安全祈願祭

日 時：令和5年6月15日(木) 8時00分～

場 所：大本山成田山久留米分院

会員の動向

会員名変更

○(株)高倉工務店 (鉄筋) R5.1.31変更

旧会員名：高倉 敏博→新会員名：坂本 憲一郎

○(株)江口産業 (研・解体) R5.2.1変更

旧会員名：江口 富夫→新会員名：江口 洋一



発行所 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル
清水建設九州支店内 九州兼喜会

印刷所 川本印刷株式会社
TEL 092-591-5110